

「授業時における消毒マニュアル」(学生用)

対面授業時における消毒について

消毒液(次亜塩素酸ナトリウム液 0.05%)・カウンタークロス(またはペーパータオル)・使い捨てビニール手袋、ごみ袋等、授業担当者が授業時に持参します。

授業終了後、授業担当者の指示により、机・器材・備品等の消毒をおねがいします。

なお、教室内における始業前の消毒は職員・助手により行われています。

【消毒箇所】

学生は、使用した机、イス、器材、備品などを消毒する。

授業担当者は、教卓、マイク、黒板消し、ドアノブ、照明スイッチなどを消毒する。

【消毒方法】

- 1.使い捨てビニール手袋をする。
- 2.スプレーに入った消毒液をカウンタークロス(またはペーパータオル)にしみこませる。
※スプレーノズルの吐出孔に近づけて噴霧し、スプレー蒸気を直接吸わないよう注意する。
- 3.使用した机等、対象物をふく。
- 4.拭き終わったカウンタークロス(またはペーパータオル)に触れないよう、ビニール手袋とともに授業担当者が持参したごみ袋に捨てる。

消毒終了後、よく手洗いをする。

次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、特に次のことに注意

- ・十分な換気を行う。
- ・直接手に触れないよう、ビニール手袋をする。
- ・目に入らないように注意する。
- ・消毒液が皮膚や衣服についた場合は、直ちに水で洗い流す。
- ・金属や布を腐食させてしまうので気をつける。
- ・他の洗剤と混ぜると危険。特に酸性の強い洗剤と混ぜると有毒ガスが発生する。
- ・薄めた消毒液は時間が経つにつれて効果がなくなるので、作り置きをしない。
- ・直射日光の当たるところや、高温の場所には置かない。